



# 妙教寺だより

第 29 号

平成 22 年 8 月

## 立正 安国



平成二十二年

松柏木庚寅歳

盛夏

平成二十二年八月二十二日  
清正公御入滅四百年遠忌記念  
出開帳法要奉行

妙教寺第七世  
元寇園教会第五世

順信院日薫  
荒木英知

「御志ぞ大地よりも厚く、大海りも深き御志ざしぞかし」

千日尼御返事

暑中御見舞申し上げます。

皆様には益々御健勝の御事とお慶び申し上げます。

かねがね檀信徒の皆様よ

り、当山の護持興隆の為に

ご浄財喜捨を賜り、又、諸

行事のご奉仕など、種々の

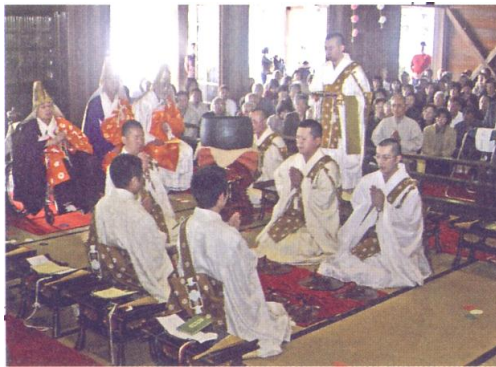
高配に対し心から御礼申し

上げます。

既に、ご承知のように、妙

教寺では、本年は、御清正公ご入滅四百年の祥当年の節目をむかえました。

### 清正公御入滅四百年遠忌



本年 4 月 11 日に本妙寺大本堂で行われた清正公御入滅四百年遠忌法要

御清正公は、慶長十六年七月に肥後本妙寺にて、二十四日に安詳として法華経

弘通の御生涯を閉じられ、入涅槃され、已来、月変り、年移りて四百年。

お清正公は法華経を守護する善神として尊崇され、人々の真心を捉え、自ずと徳が顕れ、法華経の修行の足跡、功德を今に伝え残されているのであります。

省みれば、私共は、平成の御世に、人界に受け難き生を享け、値え難き正法（お題目）を受持することを得たりのみならず、今亦、御清正公四百年遠忌に遇い奉る記念すべき報恩会が予定されています。

### 御報恩記念事業の支援

當山の香華道場由緒をみれば、御清正公さま菩提寺・旧本山・彗星山本妙寺 清正公大尊儀の庇護を賜る



改修工事が行われる御廟所（写真右）及び仁王門（写真左）

縁由により創立開山され、「春日原のお清正公さま」又、「三沢のお清正公さま」と、皆さまから親しく帰依されて、御清正公信仰の中心の地として現在に至っております。

その御清正公の四百年遠忌を迎えるに当たり、肥後本妙寺では、御清正公の永鎮の霊地、そしてその御威光御遺徳の顕彰するため「御廟所並びに仁王門改修」報恩記念事業が計画されています。

このような事に鑑み、このたび全国の寺院では各分野総力をあげて支援活動を致すことになり、これをうけて、特に、九州清正公縁由寺院は共に足並みを揃えて、再建の為の資金勧募を皆様方に呼びかけている状況です。

### 清正公出開帳法要を奉行

妙教寺においては、一昨年の総会でご承認頂きましたように、「宗祖日蓮大聖人御生誕八百年」記念事業

の一環として、當山独自の形での「清正公第四百御遠忌法要」を、皆様方のご支援ご協力を賜り、来る平成二十二年八月二十二日（日）に盂蘭盆施餓鬼会にあわせ執り行います。

よつて、当日は、肥後本妙寺より主管上人をお迎えし、御清正公出開帳を賜わる予定です。その折に、妙教寺檀信徒一同としてのご浄財を復興支援金としてご寄進させて頂きたいと思えます。

つきましては、甚だ恐縮ではございますがこの趣旨に對してご理解を賜り、積功累徳の良き機会とお考えいただき御志ご浄財をご寄進下され結縁を成就されますようお願い致します。

檀信徒の皆様には、更に

趣意書をご理解頂き、宿福の深厚たるご支援を賜われば、今後、委員会では、遺漏なく式典を円成することを期して、諸準備を進めたいと存じます。

### 記念事業の支援の締切

尚、當山檀信徒各位には、詳しい法要の内容やご浄財・ご寄進の方法についてご案内をさせて頂きましたが、當山においての、ご寄進の申込みは、都合上、第一次は「平成二十二年八月二十二日（日）」の盂蘭盆施餓鬼法要までとさせて頂いたばかり、別送の趣意書の「申込書・浄財」を妙教寺分に取り纏めて寄進致す予定です。



# 九識靈断法相伝講習会に参加して

妙教寺執事長

高野 英典

合掌

厳しい暑さも峠を越したかに見えました。まだまだ暑い日が続いております。檀信徒の皆様方には暑中お見舞い申し上げます。

さて、私、六月十四日より六月二十四日の十日間、住職上人をはじめ、檀信徒有志の方々の後押しを頂き、東京、世田谷区にある日蓮宗靈断師会本部、幸龍寺において行われました「九識靈断法相伝講習会」を受講させて頂きました。

今回は、全国各地より二

十二名の参加があり、今回初めて二名の外国人の方の参加もありました。



本年度靈断法相伝講習会に参加された皆様  
(2列目右より4番目が高野上人)

講習内容は、日蓮仏教教義大意をはじめとする教学、九識靈断法相伝、五種護符相伝他、俱生靈神符に関すること等の相伝を受けて参りました。

一日に昼食をはさみ七時間の講義と、夕食後に夜の課外講習が一時間という過密なスケジュールで、たいへん中味の濃いもので、日頃の勉強不足をつくづく反省させられた十日間でした。

それでも各講師先生方より手厚いご指導を頂き十日間の相伝講習を修了する事ができ、二級靈断師の資格を頂くことが出来ました。皆様方へ心より御礼申し上げます。

簡単に九識靈断法と俱生靈神符についてご説

2010年（平成22年8月22日）

清正公第四百年遠忌出開帳法要奉行

2021年（平成33年）

宗祖日蓮大聖人御生誕800年

明いたします。

まず九識靈断法とは、南無妙法蓮華經(お題目)の神秘と、人間が持っている九識(私達の心の一番深いところ)にある不思議な心理のこと)によつて私達の運命を予知する秘法です。悪い運命の流れがあれば、一大秘法の妙法蓮華經の守護により、それを改善して良い方向に持つていくことが出来ますし、また良い運命の流れの人はそれが悪い方向に向かないようにしたり、更に良くすることも出来ます。

しかし、靈断法は誰でも簡単に行えるというものではありません。これを行える人は九識靈断法の相伝主より免許を頂いた人だけです。この免許を有する人を「靈断師」といいます。当山においては住職上人より私で二

人目となります。

九識靈断法によれば、問題を抱える人の運命を様々な要素から靈断師が総合的に判断し、どこが良いのか、どこが悪いのかはつきり分かります。家庭運を始め、病気、業運、金運、選挙、入札交渉、取引、入学入社、失せ物、旅行、天候、学校内での問題、結婚、離婚、霊障等々、私達が生活する上であらゆる問題に対処できる秘法が九識靈断法です。



また、俱生靈神符とは、俱生靈神さま(同生天、同名天どうみょうてんという二人の神様)が「あなたを護ります」という契りちぎの符(あかし)です。

日蓮大聖人は御遺文『道場神守護事』の中に「人、所生の時より二神守護す。いわゆる同生天、同名天、これを俱生神という。」とあり、又、龍ノ口の御法難を顧みられて「あの夜、私が首を切られなかつたのは俱生靈神さまのご守護であつた。」と弟子達に体験談を残されました。又

『真言諸宗違目』には「去る九月十二日の夜中には実に危ない所を逃れた。信心が固ければ神の守りが強いというのは、このことである。あなたがたは夢にも疑つてはいけない。俱生靈神さまの守りは絶対である。」(意識)と

平成 17 年度～平成 34 年度

立正安国・お題目結縁運動

“いのちに合掌”

日蓮宗



印されておられます。

このように俱生靈神という神様は、私達がこの世に産まれたときから同時に、私達の身体に宿り、私達の命をお護り下さり、御本仏と私達をつなぐ、ありがたい大切な二天です。又、この俱生靈神の二体のお神様は私達各々の双肩に宿り、あなた方だけを専属に護り、その信仰する度合いや使命の貢献度により、より大きなご加護を下さいます。

一神を**同生天**といい、身体(健康)を危険から護り、福を与えます。

一神を**同名天**といい、生活(経済)を護り、徳を与えます。

以上のように九識靈断法により自らの現実を正しく知り、不正の部分を靈断師

の指導により改善し、又、俱生靈神符を着帯することで俱生靈神の御守護を頂き、不安の無い充実した日々を過ごされますことを切望いたします。

※尚、九識靈断法による請断をご希望される方は予め電話等で日時の予約をしていただき、その折に簡単な事情をお聞かせ頂きます。

(請断には少なくとも一時間ばかりです。また、請断の内容によっては戒律によりお調べできないこともあります。)

※俱生靈神符は初めは寺のお上人に授帯をして頂き、次回からは本堂の御宝前に置いておきますので中身の靈神符のみ毎月自分で交換してください(一体、

三百円です。尚、最初のみ着帯用袋(一袋五百円)をお求め下さい。)



俱生靈神符  
一体 300円



着帯用袋  
一袋 500円

今後はこの九識靈断法をより研鑽し自らの信仰はもちろん、檀信徒の皆様への信行のお手伝いに役立てて参りたいと思います。

再拝

〒812-0027 福岡市博多区下川端町 10-9  
フリーダイヤル 0120-39-0456  
TEL092-271-0456 FAX092-271-0464



拜む心で 尊い品を

仏壇・仏具・寺院用具 寺院納骨堂設計施工

**梅谷佛具店**

本店 福岡市博多区下川端町10-9 (地下鉄中洲川端駅下車7番出口 博多駅前)  
☎092-271-0456

支店 福岡市西区黒船寺3丁目9番4号  
☎092-806-7499

# 各会役員より

信仰心篤い亡き

伊藤様の思い出について

婦人会会長

古賀 静枝



花まつりのお御堂飾付けに参加された古賀会長

昨日、第三十九回海上施餓鬼会に参加してまいりました。貴方と参加していた頃は博多湾から船で出かけていましたね、本当の海上施餓鬼でした、良く一緒に参加させて頂きました、今は遠い思い出になりました。

妙教寺発展の為色々のことをなされました、階段の手摺りを寄贈されました、登り降りに皆が大変重宝しています。霊界へ旅立たれましたあなたのことを色々と思いで出しています。



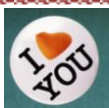
日蓮大聖人銅像百年祭に参加された、故・伊藤ツヤ子元婦人会長

日蓮聖人のご遺文「波木井殿御書」にありますように、信仰心の篤い貴女には、梵天、帝釈、四大天王、閻魔法皇の御前には、法華経の行者、日蓮大聖人の

お弟子ですと名乗りましたか、三途の河では船は待つていましたか・・・色々お聞きしたいものです。

早いもので、あなたに勧められて、会長を引き受けて七年余りになります。今でも信仰心篤くご先祖様を大事にされていたあなたは良いお手本です。私もこちらへすぐにでも参りたいのですが、いづれ会長の職を後進にまかせて、そのあと、妙教寺発展を見させて戴いてから参ります。それまで今しばらく見守って下さいお願いいたします。

最後になりましたが、檀信徒の皆様には、まだまだ暑い日が続くそうです、お身体にご留意されこの夏を乗り越えて頂きますようお願い申し上げます。南無妙法蓮華経



九州限定販売



ひよ子のピナンセン  
しっとりほど良い甘さと  
ミルク風味のやさしい  
味わいです。

御祝い・御法事などの引き物、ご進物・ご贈答に **ひよ子本舗 吉野堂** のお菓子をご愛用下さい。

名菓 **ひよ子** 大野城サティ店  
大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ内

TEL・FAX 092-592-2126



## 加藤清正公

### 四百年遠忌について

信行会会長

植村 俊親

先のご講話等で清正公様については、述べられてきたので、熊本城及び清正公様についての逸話等について述べてみます。

熊本城は次のものから成り立っています。

#### 大小天守閣

天守閣、本丸御殿一帯は西南戦争開戦二日前に原因不明の出火で消失した。現在の天守閣は昭和三十五年に外観復元したものである。天守閣は地上六階地下一階、石垣の上から高さ約三十m、小天守閣は地上四階地下一階、高さ約十九mである。内部には加藤家細

川家、西南戦争の資料が展示してある。



熊本城天守閣

#### 二様の石垣

熊本城が築かれた慶長時代は全国的な築城ラッシュで、技術革新も急速に進んだ。二の丸の横に聳える石垣は、他と比較して傾斜が急で後に継ぎ足されたものである。う、石垣の年代差は大小天守閣の石垣にも見ることができる。

#### 宇土櫓(国指定重要文化財)

創建当時から残る唯一の

多層櫓である。地上一階地下一階、他の城郭では優に天守に匹敵する、往時の熊本城はこのような五階や三階建ての櫓が林立し、まさに難攻不落の巨大要塞であった。

#### 南大手門

熊本城復元計画に基づき、平成十四年に完成した櫓門(昔の門は西南戦争で弾丸による痕跡が残っていた)熊本城は北、南、西の三つの大手門があつたが、その中で最大の規模である。

#### 飯田丸五階櫓

飯田丸五階櫓は本丸の南西に位置し、高さ約十四m、延べ床面積約五〇〇平方メートル。築城当時、六棟あつた五階櫓の一つであつた。

#### 長堀(国指定重要文化財)

熊本城の内堀である坪井川

に沿って建つ白黒のコントラストが美しい城壁である。現存する城郭の堀の中では最長の二四二メートルを誇る、毎年秋のお城まつりでは、長堀前河川敷で、武田流騎射流鏑馬(県指定重要無形文化財)が披露される。



国指定の重要文化財、熊本城長堀

本丸の中に幾多の井戸を設ける。天守閣の壘には、芋がらをつかう等。市内の川は曲がりくねり水害を防ぐべき処置をされていた、この度大広間が復元された。

# 投稿欄

## 第三十九回

### 海上施餓鬼に参加して

妙教寺総代

花田 正月

元寇の役や先の太平洋戦争等水際で亡くなられた両軍の戦死者の方は今でも無念の思いの霊はまだ完全に静まって居られないでしょ



施餓鬼法要の後、献花された花田総代 (写真中央)

亡、日賢上人が導師を勤められたこともある、船上での海上施餓鬼も大変盛大でしたが、近年、会場となつている博多港国際ターミナルでの大会も準備等をされる各寺院のお上人様の努力で盛大に執り行われています。陸上での施設で行われるようになつて四年目を迎えますが海上で行われていた時とは雰囲気も大変違います。

以前、御前様が志賀島で良く話しておられました、「そこに番兵が居るだろう道を開けて通してあげなさい」と、その思いを新にしては博

遠忌について振り返ってみます。二百五十年遠忌は(万延元年)(千七百六十年)江戸時代に盛大に行われた、しかし明治維新による廃仏棄釈により佛式での

二十八(千九百五十二年)六月二十六日大水害(この日午後四時くらいに雨になり降る雨が瓦に当たり跳ね返る雨で先が見えない程)で大水害をもたらす。

清正公祭祀は禁じられ、淨池廟は破却され、さらに明治十年西南戦争で本堂も消失します。庶民の清正公様

平成二十二年四月十一日四百年遠忌記念法要が池上尊義本妙寺住職の導師の下に厳修されました。

信仰は衰えず、明治二十七年日清戦争(一八九四年)明治三十七年(一九〇四年)日露戦争により清正公

妙教寺も 荒木御住職の発案により八月二十二日清正公様出開帳を執り行うことになりました。

様信仰は新たな性格を加え軍神・武神としての信仰が明治四十三年が清正公様

御守護神としてお祭りしてあります。

三百遠忌でした。その後大東亜戦争に突入昭和二十年(千九百四十五年)七月

御開帳を皆様でお迎えしましょう。 謹言  
南無妙法蓮華経  
南無妙法蓮華経

一日・八月十日空襲に会い、八月六日に廣島九日に長崎に原爆が投下され八月十五日敗戦を迎えました。昭和



多湾を眺めながら今年も献花をさせて頂きました。

去年も今年も大変素晴らしいお天気でした、約三十名の方々と共に参加させて頂きました。早く到着すると待ち時間が長いということと今年少し遅く出発しましたが会場の近郷の発展が素晴らしく駐車場を探すのに一苦労しました。やはり余裕を持って参加することが大切でした。



荒尾市妙國寺・渡邊義俊上人による海上施餓鬼での講演

午前中の海上施餓鬼法要に続き、午後よりご法話が

ありました。お二人の若いお上人様に続き、今年も、熊本県荒尾市の妙國寺・渡邊義俊上人様のご講演がありました。

法華経「常不軽菩薩品第二十一」より常不軽菩薩様の「担行礼拝」についてのお話でした。

「全ての人を尊敬し、心より合掌して、敬いの心をもって接して行かねばならない、なぜなら、人には皆、だれでも仏性（仏様になる心）を持っているので、それを呼び起こす事によって、偏見のない平和な社会へとつながっていく」と話されました。

まだまだ未熟な私ですが皆様と共に合掌し、信仰に励んでまいりたいとおもいます。

南無妙法蓮華経

## 内観法

事業担当長

臼井 義光

先日、友人から「内観法」という言葉を聞きました。心理学の言葉だそうです。現代社会の心の病（精神病・うつ病）などの治療に大変効果のある治療法らしいです。

福岡刑務所での慰問の折、受刑者の心を開く為に「内観法」に似た修行法を、取り入れていたと生前にお伺いしておりました。

行い方はすごく簡単で、自分の人生を、現在から過去へ一年づつ遡って思い出し、その時々喜怒哀楽の事柄を、紙に文字を書いていき、生まれた時まで遡り自分を見つめ直し、そして幼き日々、に父母友人をはじめ多くの人々から頂いた大きな愛について考え、自分の人生が無駄ではなかった事に気づき、今の自分の人生を再構築していく……。

そういえば、わが妙教寺の亡き若上人（日賢上人）が、



元旦祝禱会で参拝者に祈禱をされる、亡き若上人（日賢上人）

どのような罪を犯した人でも、必ず涙を流し、優しい顔になるそうです。この「内観法」は、仏教の修行法にもあるそうです、いや、もともとと仏教から出た考え方では



信行会で体験談等を講演される  
白井事業担当長

ないかと思いません。

まず、今の自分を知るこ  
と、そして自分を育ててくれ  
た両親の恩を知り、数多く  
の人々の恩を知り、その恩に  
感謝し、徳行の力で恩返し  
をすることの大切さを改め  
て考えさせて頂きました。

お盆をお迎えするこの時  
期、「内観」に沿って、自分を  
そしてご先祖様を見つめ直  
す良い機会だと思えます。

南無妙法蓮華經

### 妙教寺行事に参加して 感じたこと

信行会役員

伊藤 敏夫

妙教寺様には日頃から大  
変お世話になっていきます。

私が月例祈禱祭、信行会  
に参加して二年四ヶ月、三沢  
清正公様掃除のお手伝いそ  
して月例施餓鬼会に出席し  
て一年四ヶ月経過しました。  
月祈禱祭は毎月第一日曜日  
午前十時に開始され、身体  
健全他祈禱して頂くことによ  
り、各家族の方々が安心して  
生活することができます。  
そして、先祖他皆様に守られ  
ているのだと、いつも感謝して  
います。

信行会もお経の練習や、  
地獄界から仏界まで即ち十

界の話等、人間として善悪を  
判断し世間様に迷惑をかけ  
ないで生活ができ、自分自身  
を磨く努力をしなければな  
らないことを教わりました。



信行会に参加され、講義を  
熱心に聞かれる伊藤敏夫氏  
(写真手前)

信行会が終わると三沢の清  
正公様の掃除に行きます。  
最初は一緒に行かれる方の  
指示に従い掃除をして、終了  
後、お上人様と一緒にお経  
を唱えます。

数ヶ月参加するうちに、日  
貫上人様が三沢の出身とい  
うことがわかり、祀つてある  
方が、加藤清正公であること  
もわかりました。

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

## (有)白井組



建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397



又、月の最後の日曜日に月  
施餓鬼供養会があります。  
私だけではなく家内もお寺の  
事を少しでも理解してもら  
うため、参加させて頂くこと  
があります。

最初の読経までは参加され  
る人は多いですが、祈祷が始  
まる頃は人数も減り何とな  
く寂しい気がします。

全般的に参加者が少ない  
うえに、途中で減りますと最  
後まで居てくれたらどんなに  
雰囲気が良いなるだろうと  
又、助かると自分なりに感じ  
ています。

お施餓鬼には九十代前後  
の方も毎月お見えになり、頭  
が下がります。それとなく声  
かけをして自分の励みの量に  
しています。

国会、県会、市会議員は、  
最近四十〜五十代の方が主  
流で発言されています。然し、

お寺の行事については、通常  
六十代以上の方がお勤めさ  
れています。



三寺合同団参で住職上人と  
身延山山頂で2ショット

納骨堂は当山にあるが夫  
婦でお参りに来られる人も  
少ないのではないかと思われ  
ます。誰でも役員になりたが  
りません。

この様な現状から、今まで  
役員をしてある方、及びお寺  
の行事に協力してある檀信  
徒の皆さまの支えが、より一  
層必要視されます。

要はお寺と役員と檀信徒  
が、力を合わせ各人の意見を

尊重しつつ、いざという時に  
協力して頂く姿勢を作りだ  
して、そして、お互いに信頼  
関係を築くことが大切であ  
ると思います。



圓頓寺大黒天祭に参加され、特別  
賞が当たった伊藤氏（写真右）

年間行事を遂行する過程  
で一人でも多くの方が参加し  
て頂き、出席して良かったと  
云える又、家族の方も少しで  
も理解してくれるような努  
力、そして当山と檀信徒が心  
の通った人間関係が少しづつ  
構築される事を願っていま  
す。  
南無妙法蓮華經

人の安全・車の保安・真心サービス

スピーディをモットーに  
民間車検・国土交通省指定整備工場

井上自動車株式会社



本社  
第二工場

福岡市博多区麦野 1 丁目 1-38  
電話 (581) 4607-3089 ☎812  
FAX (581) 4796 -0882  
福岡市博多区井相田 2 丁目 3-25  
電話 571-7376

全国ネットワークのロータス優良メンバー工場

行事スナップあれこれ



1/11 新春施餓鬼法要後、  
圓頓寺住職、荒木英人上人による  
「お清正公様」についての講演



1/1 祝祷会 ご参拝の皆様と一  
緒に甘酒の供養を頂きました



1/24 婦人会主催寒修行  
団扇太鼓を叩いて、唱題行に励み  
ました。(35名の参加)



1/11 新春施餓鬼供養会、福引き  
大会等、150名の参加者があり盛  
大に行われました



6/13 元寇園教会芋苗植え会  
婦人会有志及び檀信徒有志の  
方々で500本の苗を植えました



4/11 釈尊降誕会(花まつり)  
婦人会による手作りの花御堂と  
甘茶の供養



2/7 節分追儺会 歳男・歳女の  
方々による豆まきは、本年も無病  
息災・開運除厄



7/18 別院志賀島元寇園教会  
役員有志及び檀信徒有志の  
方々による盆前大掃除



7/18 当山盆前大掃除、45名の  
参加を頂き、綺麗になりました。  
ありがとうございました。



7/16 第39回海上施餓鬼大法要  
猛暑の中、當山より25名の参加  
を頂きました。



# 平成22年行事予定(8月～12月)

## ◎8月1日(日)

- ・月例祈禱祭  
午前10時より
- ・三沢清正公堂大掃除  
午後より

## ◎8月6～15日(金～日)

- ・盂蘭盆棚経廻り  
早朝より

## ◎8月22日(第4日曜)

- ・盂蘭盆施餓鬼会  
午前11時より
- ・清正公御入滅  
四百年遠忌出開帳法要  
午後1時より

## ◎9月5日(第1日曜)

- ・月例祈禱祭  
午前10時より
- ◎9月20～26日(月～日)  
・秋季彼岸棚経廻り  
早朝より

## ◎9月26日(第4日曜)

- ・各家勧請守護神祭
- ・秋季彼岸施餓鬼供養会  
午後1時より

## ◎10月3日(第1日曜)

- ・月例祈禱祭  
午前10時より

## ◎10月17日(第3日曜)

- ・宗祖日蓮大聖人お会式
- ・月施餓鬼供養会  
午後1時より

## ◎11月7日(第1日曜)

- ・月祈禱祭  
午前10時より

## ◎11月28日(第4日曜)

- ・月施餓鬼供養会  
午後1時より

## ◎12月5日(第1日曜)

- ・月祈禱祭  
午前10時より

- ・三沢清正公堂大掃除  
午後より

## ◎12月19日(第3日曜)

- ・年末煤払い大掃除  
午前9時より

## ◎12月26日(第4日曜)

- ・年末総供養施餓鬼会  
午後1時より

## ◎12月27日(第4月曜)

- ・正月お供えの為の餅つき  
午前4時より

## ◎12月28～30日(火～木)

- ・正月飾付け準備

## ◎毎月第1日曜日は

- ・信行会 (12時より)
- ・三沢清正公堂お参り  
(午後より)

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

## 《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

- 近代的格調高い
- 耐久性にすぐれる
- 御先祖様をおまつりするのに  
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。  
※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八二)二二六六



清正公四百遠忌を前に、  
皆様方のお力添えを  
よろしくお願いいたします。

清正公四百遠忌御報恩記念  
仁王門・浄池廟および周辺・  
**諸堂改修事業**  
寄付のお願い

一口  
**10,000円**

**“清正公御入滅四百年遠忌記念事業に伴う支援のお願い”**

「本妙寺浄池廟・仁王門復興支援金」の申込みは

**平成 22 年 8 月 22 日** 當山盂蘭盆施餓鬼法要・清正公第四百年遠忌法要

**当日の申込みも受付致します**

申込み先：春日山妙教寺 092（581）1266